学校番号	１００１

令和５年度　　理　科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂　新編　生物基礎（東京書籍）						
副教材等	レッツトライノート 生物基礎　（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・生物や生物現象を理解しやすくするために，ICT 機器を用いながら授業を行う。
・実験は，周りの人と協働しながら取り組み，得られた結果について考察する。
・問題演習に多く取り組むことにより，学習内容の定着を図る。
・確認テストを定期的に行い，理解度を確認する。
・理解を深め，学習内容を定着させるには，十分な家庭学習を必要とする。

2　学習の到達目標

・遺伝子・健康・環境など日常生活や社会に関わるテーマを通して，生物や生命現象に対しての興味・関心を高める。
・観察，実験を通して生物や生命現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解する。
・生物や生命現象の持つ多様性を踏まえつつ，それらに共通する生物学の基本的な概念や原理・法則を理解する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	遺伝子・健康・環境など日常生活や社会に関わるテーマを通して，生物や生命現象に対しての興味・関心を高め,探求しようとする意欲を，具体的な行動で示している。	生物や生命現象の持つ多様性を踏まえつつ，それらに共通する生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し，文章や数式，グラフなどで，第三者にわかるように判断する。	顕微鏡の使用法など，探求するための実験・観察の方法を説明できるとともに，それらを実際に行う技能を身につけ，自らの考えを的確に表現する。	生物や生命現象の持つ多様性を踏まえつつ，それらに共通する生物学の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し，それらを活用できる知識を身につけている。
評価方法	実験レポート ワークシート ノート	実験レポート ワークシート 確認テスト 定期考査	実験レポート 確認テスト 定期考査	確認テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価する。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="3">前期</td><td rowspan="2">生物の特徴</td><td>・生物の共通性</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">a: 遺伝子・健康・環境など日常生活や社会に関わるテーマを通して，生物や生命現象に対しての興味・関心を高め，探求しようとする意欲を，具体的な行動で示している。
b: 生物や生命現象の持つ多様性を踏まえつつ，それらに共通する生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し，文章や数式，グラフなどで，第三者にわかるように表現している。
c: 顕微鏡の使い方とプレパラートの作成方法，またスケッチのしかたやミクロメーターの使い方についての技能を修得する。
d: 生物や生命現象の持つ多様性を踏まえつつ，それらに共通する生物学の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し，それらを活用できる知識を身につけている。</td><td rowspan="2">実験レポート
ワークシート
確認テスト
定期考査</td></tr>
<tr><td>・生命活動とエネルギー</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">遺伝子とそのはたらき</td><td>・生物と遺伝子</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="3">a: 遺伝子・健康・環境など日常生活や社会に関わるテーマを通して，生物や生命現象に対しての興味・関心を高め，探求しようとする意欲を，具体的な行動で示している。
b: 生物や生命現象の持つ多様性を踏まえつつ，それらに共通する生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し，文章や数式，グラフなどで，第三者にわかるように表現している。
c: 身のまわりの材料を用いて DNA を抽出することで，どんな生物も DNA を持っていることを理解する。だ腺染色体に見られる縞模様とパフを顕微鏡で観察し，それぞれがもっている生物学的な意味について理解する。
d: 生物や生命現象の持つ多様性を踏まえつつ，それらに共通する生物学の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し，それらを活用できる知識を身につけている。</td><td rowspan="3">実験レポート
ワークシート
確認テスト
定期考査</td></tr>
<tr><td>・遺伝子の均等配分</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>・タンパク質の設計図</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

後期	生物の体内環境の維持	・体内環境の維持	○	○		○	a: 遺伝子・健康・環境など日常生活や社会に関わるテーマを通して，生物や生命現象に対しての興味・関心を高め，探求しようとする意欲を，具体的な行動で示している。 b: 生物や生命現象の持つ多様性を踏まえつつ，それらに共通する生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し，文章や数式，グラフなどで，第三者にわかるように表現している。 d: 生物や生命現象の持つ多様性を踏まえつつ，それらに共通する生物学の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し，それらを活用できる知識を身につけている。	実験レポート ワークシート 確認テスト 定期考査
		・体内環境を保つしくみ	○	○		○		
		・体内環境を守るしくみ	○	○		○		
	生物の多様性と生態系	・植生の多様性	○	○	○	○	a: 遺伝子・健康・環境など日常生活や社会に関わるテーマを通して，生物や生命現象に対しての興味・関心を高め，探求しようとする意欲を，具体的な行動で示している。 b: 生物や生命現象の持つ多様性を踏まえつつ，それらに共通する生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し，文章や数式，グラフなどで，第三者にわかるように表現している。 c: 学校の敷地内の植物を観察し，自分の住む地域の植生の理解を深める。 d: 生物や生命現象の持つ多様性を踏まえつつ，それらに共通する生物学の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し，それらを活用できる知識を身につけている。	実験レポート ワークシート 確認テスト 定期考査
		・気候とバイオーム	○	○				
		・生態系とその保全	○	○				

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが，学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。